

# 松本市市民活動 サポートセンター通信 No.5

発行元 松本市市民活動サポートセンター  
〒390-0874 松本市大手 3-8-13  
松本市役所大手事務所 2階  
TEL/FAX 0263-88-2988  
E-mail support-center@support-center.jp  
URL http://www.support-center.jp



## サポートセンター新企画事業「市民活動講座」開講



### 第2回市民活動講座「市民参加による地域づくり ～ワークショップ体験～」

- ◆日 時：9月28日(木) 18:30～20:30
- ◆場 所：松本市市民活動サポートセンター
- ◆講 師：傘木宏夫氏(NPO地域づくり工房)
- ◆内 容：ワークショップ体験等を通して市民参加による地域づくりの手法を学ぶ。  
第1回「さまざまな市民活動のあり方 ―町会を中心として―」に引き続き開催。  
多様化する住民ニーズに対してどのように対処していくのか、講座の中にヒントがたくさんあるはず。  
参加費は無料ですので、多くの方の参加をお待ちしています。



## サポートセンター自主事業活動報告



### 環境団体交流会

8月23日の分野別交流会は環境について開かれ、20団体の代表者や多数の研究者の参加があり、市環境保全課も加えて総勢45名の交流会となりました。

まずは早足で団体の活動紹介があり、続く意見交換会では、ネットワークの必要性を訴える声が続ぎました。

「もっとお互いの活動を理解するために交流会を継続することが重要」、「環境といっても様々なテーマがあり、それぞれに取り組んでいても、全てそれは何処かでつながっているはず…それが環境」、「向いている方向は一緒、「緩やかなつながり」が欲しい」など様々な意見が出ました。更に、「互いに学び、広く活動を伝える場として“市民環境大学”をつくりたい」、「いや、“市民環境大学”は、もっと時間をかけて交流を重ねてから」と具体的な提案もあり、用意していた時間では議論が終わ

らず、早速9月中に集会を開いて、今後の交流会のあり方について引き続き議論することになりました。

また、事務局は行政主導でやるべきと、活動団体自らやるべきとで意見が別れ、これについても、従来のネットワークでの行政事務局体制の限界や、これからの協働のあり方も含めて検討を要するので、益々議論は白熱しそうです。(黒岩さおり)



### 「環境問題」に取り組む団体の活動紹介コーナー！

8月20日(日)～9月17日(日)までを環境保全キャンペーン期間として、センターの一角に特設展示コーナーをつくり、活動の様子やメッセージなどをパネル展示。市民の皆さんにも活動を広く知っていただける機会にしたいと考えています。

次回は…国際交流団体の交流会：10月18日(水) (予定)  
展示期間：10月15日(日)～11月12日(日) (予定)  
どうぞ一度お立ち寄りください。

## NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会



ツキノワグマの写真を見た。子熊はとてもカワイイ。1995年上高地のホテルから出る残飯に集まったクマに対処したことが団体設立のきっかけになったというが、それ以前は、発見即駆除されていたツキノワグマ。

代表の林さんは言う。「クマは臆病なので、普通、人が居るところにはお現れせん。」ではなぜ人里で見えるようになったのか。「理由の1つは“無意識の餌付け”です。別荘地の生ごみ、山際の果樹園・もちこし畑、養蜂。放置された山林・休耕地は良い餌場になります。」

丹精込めて育てた農作物が一晩でクマに荒されたらどうだろう。「仮に駆除しても餌場が無くならない限り、違う個体が現れることとなります。」上高地においても残飯をきちんと囲い、電気柵を設け、それでも現れる個体には、お仕置き（学習放獣）をしたら、現れなくなったそうだ。

「クマが住む環境があれば、健全な自然があるということ。もし、十分な栄養が確保出来ないと母体が判断すると、子供は着床せずに流れてしまうのです。」という言葉が印象に残る。動物も共に山林を造る。豊かな自然に囲まれた暮らしを求めたら、同時にクマ等動物と共存することを知る必要がある。

2004年1月に法人格を取得、ハイカーやキャンプする子供達への啓蒙活動、行政からの委託事業、生態調査など、活動も多岐にわたる。技術を持った人材確保が急務であるが、資金面などの問題で、困難だという。そんな中、林さんの最後の仕事と決めているのが、長野県では絶滅が危惧されている中信高原（八ヶ岳～美ヶ原）固体群の将来。孤立させぬよう「緑の回廊」（コリドー）を確保することである。クマには縄張りが無い。個体群間の移動は人間の生活道路に寸断されているので、コリドーで導き人とクマが出くわさないようにするという。改めて長野が自然豊かな土地であると感じた。（小池史子）

### サポート会員募集中！！

- ◆問合せ：〒390-0876 松本市開智 2-9-8  
NPO法人信州ツキノワグマ研究会 代表：林 秀剛
- ◆TEL/FAX：0263-36-1884  
<http://www.shinshukumaken.com>



## 松本市ボランティアセンターより ☆ごあんない☆

### 長野県高校生ボランティア研究集会

『ボランティア』という言葉キーワードに、県内の高校生が塩尻市に集結！  
様々なボランティア活動を発見・体験し、また、しっかりと交流する2日間です！  
テーマ：高校生集 Go・・仲間と旅へ・・  
発見・体験・長野県

- ◆参加対象
  - ・ボランティア活動に関心のある高校生
  - ・高等学校のボランティアクラブ等の担当教諭
  - ・青少年の地域活動を応援するボランティアリーダー
  - ・地域のボランティア推進機関関係者（社協職員、施設職員等）
- ◆日時：9月23日（土）～24日（日）
- ◆会場：1日目：塩尻総合文化センター（塩尻市大門7番地4-3）  
宿泊：『アスティかたおか』（塩尻市片丘字東山9215-1401）  
2日目：『アスティかたおか』（ " ）
- ◆内容：
  - ・全体会（シンポジウム他）
  - ・分科会 国際関係/高齢者とのふれあい/障がい関係/児童関係/しゃべりば/環境関係
  - ・交流会
- ◆参加費：高校生8,000円 一般9,000円（1泊3食）
- ◆問合せ：長野県社会福祉協議会・ボランティア地域活動センター
- ◆TEL:026-226-1882 FAX:026-291-5180  
E-mail: vcenter@nsyakyo.or.jp



### メイク&マッサージ ボランティアフェスタ

「高齢者や障害者の方に、メイク&ボランティア」  
理美容師の卵の人達と交流を持ちながら、きれいにしてもらいましょう！

- ◆日時：10月16日（月）  
9:15～11:30
- ◆会場：松本市理美容専門学校 実習室
- ◆内容：メイク・シャンプー・マッサージ等
- ◆申込み/問合せ：松本市ボランティアセンター
- ◆TEL:25-7311
- 地域社会に貢献できる理美容師を目指す学生の役割として高齢者の方々へボランティアをさせて頂き、実践から学ぶ。





## ケア集団 ハートビート

「自宅で家族に見守られて横たわっている。呼吸がだんだんゆっくりになり、そのうち息がなくなる。それから医師を呼んで死亡診定をしてもらう。家族は患者と家族の希望を成し遂げられた達成感を持ちながら静かにお茶を飲む」とある家庭の例がある。こんな余裕のある臨終を迎えたいと願う人も多くいるだろう。実際はほとんどが病院で、息がなくなる時には家族は外に出され、家族なら見るのもつらい薬や機器による延命治療が行われて臨終を迎えることが多いという。

代表の飯島さんは、幼少の頃の入院体験から看護に憧れ、看護師になった。長く医療に関わっている間に数々の人生の終わりをみた。そして、息を引きとるその時の医療に疑問を持つようになった。「もっと暖かさのある最期にしたいと思ったんです」

諏訪中央病院の緩和ケア病棟に勤務した時、患者・家族主体の医療と、充実した地域ケアに衝撃を受け、同時にそんなケア形態が松本には無いことを知る。「医療と福祉がしっかり結びついたケアを求めている人は、松本にもたくさんいるはず。家族の日常の雑務を少しでも減らし、もっと患者と家族と一緒にいる時間をつくる、エネルギーを傾けることが出来るような環境づくりのサポートをしたい」そんな思いから2005年9月、「ケア集団ハートビート」(現在、NPO法人申請準備中)を立ち上げる。

まずはケアについての勉強会を春から月1回のペースで開催している。「ホスピスケアとは?」、「全人的ケアとは?」参加者は現場の看護師・医師が多いが、高校生も来ていて、共に命を考えている。

飯島さんは尼僧でもある。普段は亡くなった後にかかわる仕事をしているが、「果たして人は救われているのかな」と考えるという。心配なのは「自身が終末期に置かれたとき、緩和ケアを知らないことで選択肢に出来ないことです」という。

「人は皆亡くなるのです」改めて、緩和ケア・ホスピスケアが終末期にいる人間だけのものではないことを考えさせられた。(小池史子)



### ハートビート・スタッフ募集中

興味のある方は連絡を。看護師及び医療経験者歓迎。

- ◆問合せ：ケア集団ハートビート事務局 飯島 恵道
- ◆TEL：090-1865-5700 FAX：0263-32-8313

## Q)NPO とボランティアは同じもの?

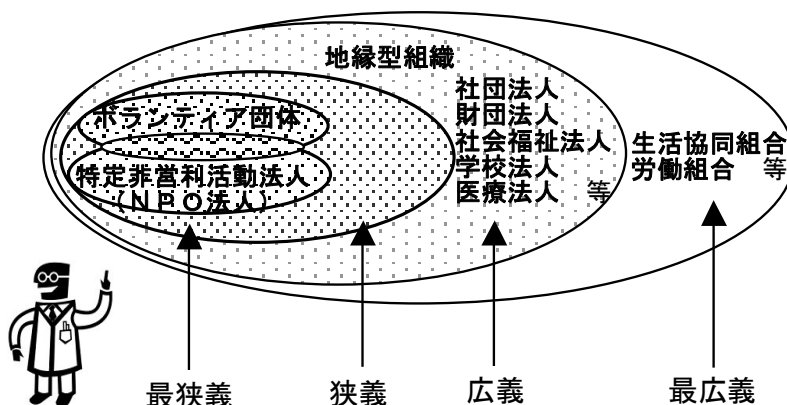
## 基礎から学んで賢く活用 豆知識 ②

A) ボランティアは個人の思いを、NPO (注) は組織の社会的な役割を意識したことばです。

ボランティア活動は、よりよい社会づくりのために、個人が自ら進んで行く、金銭的な見返りを求めない活動とすることができます。労働の対価を求めない代わりに、活動に関わる個人の自発性に重点が置かれます。個人単独で行うこともあります、グループで行うもの、あるいはNPOや行政に関わって行うものなどがあります。

「ボランティア」が個人のスタンスを表すことばであるのに対し、「NPO」は組織のスタンスを示すことばであるといえます。社会的使命の達成のために活動をする組織であり、政府や企業とは異なった立場から社会的なサービスを提供し、社会的な課題の解決をめざすものです。

### 市民活動団体 (NPO) の範囲



～長野県「NPOと行政との協働指針」から～

(注) 松本市においては、NPO (民間非営利組織) は市民活動団体と同義で扱うこととし、市民活動団体の範囲は、最広義とします。

<参考文献>～知っておきたいNPOのこと～特定非営利活動法人「日本NPOセンター」編集から抜粋



## 国際クマ会議 IN 軽井沢 参加者募集

第17回クマ類の研究と管理に関する国際会議は、アジアで行なわれる、はじめての国際クマ会議。国内のみならず、海外のクマ事情を知る絶好のチャンス。一般参加も可。

- ◆日時：10月2日(月)～6日(金)
- ◆詳細：<http://www.japanbear.org/iba/jp>
- ◆問合せ：〒390-0876 松本市開智2-9-8  
NPO法人 信州ツキノワグマ研究会
- ◆TEL/FAX：0263-36-1884  
<http://www.shinshukumaken.com>
- ◆後援：環境省、長野県、軽井沢町など(予定含)

## ボランティアスタッフ「100彩サポーター」募集

平成19年5月1日～11ヶ月間にわたり展開を予定している「松本市市制施行100周年記念事業」の各イベントのスタッフ、「100彩サポーター」を広く市民から募集中。

- ◆募集期間：9月1日(金)～10月31日(火)
- ◆募集人員：100名(予定)
- ◆応募資格：18歳以上で松本市内に在住・在勤・在学の方
- ◆応募方法：指定の「100彩サポーター申込書」に必要事項を記載し、松本市政策部記念事業課へ郵送・FAX・Eメールで提出
- ◆問合せ：松本市政策部記念事業課
- ◆TEL：34-3256「100彩サポーター」募集

## 「子育て家庭支援講座」参加者募集!

子育て中のお父さん・お母さん・・  
榎秋美知子先生と一緒に松本中心市街地で子どもの居場所をみつけませんか?

松本大学の学生さんもサポートで登場します。  
お互いに育ち合い、交流を深めることが目的です。

- ◆日時：9月26日(火)10時～11時30分
- ◆場所：あがたの森公民館音楽室
- ◆問合せ：ウイメンズ・サポート
- ◆TEL：090-2259-4804(六井)



## NPOの「こんなことができます」紹介サイトへの掲載情報募集中!

長野県企画局NPO推進チームの県公式HP「あいねっと情報ながの」に、『NPOの「こんなことができます」紹介サイト』を開設準備中。対象は、民間の非営利活動団体。法人格の有無は問わず。

- ◆提出期限：9月30日
- ◆要綱詳細：<http://www.support-center.jp/>  
当サポートセンタートップページより
- ◆問合せ：長野県NPO推進チーム(伊藤)
- ◆TEL：026-235-7189



## 親子でまちのいいところを見つけちゃおう!参加者大募集

「親子で文化の薫りが色濃く残るまちを散策してみよう!」「いいところを見つけ!体験編」

- ◆日時：9月23日(土)9:00～(雨天24日(日)延期)
- ◆申込〆切：9月20日(水)
- ◆対象：親子先着50組
- ◆集合：松本市立博物館
- ◆持ち物：デジタルカメラ(貸し出し可)
- ◆応募方法：指定申込み用紙に必要事項をご記入の上、松本市青年会議所事務局まで郵送またはFAXで。
- ◆問合せ先：松本商工会議所
- ◆TEL：32-7646 故郷の誇り委員会(寺村・新保)  
<http://www.mcci.or.jp/>

## 勉強会開催! -大切な私の命・私の生き方・私の性-

- 「性教育を通して育てたい自尊感情」
- ◆日時：10月22日(日)13:00～
- ◆場所：市民活動サポートセンター
- ◆講師：竹内未希代先生(CAPしなの代表)
- ◆参加費：¥500(18歳以下無料)
- ◆問合せ/TEL：子供の心身共に健康な成長を願う親の会(野見山)/33-7257



## 松本市の子育て支援について「出前講座」

- ・松本市の子育て支援施策について
- ・これまでの具体的な取り組みと今後の課題について
- ◆日時：9月21日(木)13:30～参加自由
- ◆場所：市民活動サポートセンター
- ◆問合せ/TEL：あおぞらの会(原)/27-8567



## サポートセンターからのお知らせ・募集

### 当サポートセンターホームページご存知ですか?

松本市市民活動サポートセンターHP <http://www.support-center.jp> アクセス数上昇中! 新着情報満載!

センター施設予約情報、イベント・助成金情報、ボランティア団体・登録団体リストなど、御好評いただいております。松本市公式HP<くるくるねっと>からもリンクしています。

### 市民活動団体発信の[情報掲示板]利用価値あり!

市民活動団体の情報発信の場として活用してみませんか? 「団体紹介」・「イベント紹介」・「会員募集」・「活動PR」など、[情報交換・掲示板] → [情報掲示板] に掲示しています。お待ちしております!



### 編集後記

交流会など各種イベントを通して、多くの団体に当センターを知っていただき、その後の活動でご利用いただく機会も増えてまいりました。また、登録団体の問合せや法人格取得の相談、広報活動の協力要請など、センターの利用方法も多岐にわたってきました。今後、できるだけ質の良いサポートができるよう努力してまいります。